

指導と評価の一体化に向けて

【2】
生徒の思考・判断のよりどころとなる
主な音楽を形づくっている要素の精選

○「内容のまとまり」と〔共通事項〕との関係

・〔共通事項〕アは、思考力、判断力、表現力等に関する内容を示しており、〔共通事項〕アと各領域や分野の事項アは、一体的に捉えるべき内容である。

歌唱	器楽	創作	鑑賞
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え⇒			
⇒歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。	⇒器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。	⇒創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。	⇒鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(イ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

〔共通事項〕事項アについては、
全ての題材で必ず位置付けなければ学習として
成立しない

〔共通事項〕

- ・「A表現」及び「B表現」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること
- ・表現及び鑑賞の活動と切り離して単独で指導するものではないことに十分留意する必要がある

【2】思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素の精選

思考・判断・表現

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素
(例)リズム、速度、旋律、強弱、

思考・判断・表現
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもつたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

【評価規準(例)】

「荒城の月」、「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。

【2】思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素の精選

学びの姿を具体的にえがく

25

指導と評価の一体化に向けて

【3】 題材を貫く学習内容の設定

生徒に興味・関心をもたせたい事柄を明らかにする

26

【3】 題材を貫く学習内容の設定～興味・関心をもたせたい事柄を明らかにする～

主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価規準】

〔興味・関心をもたせたい事柄〕
(例) 「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わい

【評価規準】(例)

「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。

27

【3】 題材を貫く学習内容の設定～興味・関心をもたせたい事柄を明らかにする～

生徒に興味・関心をもたせたい事柄

⇒生徒がどんな学習に向かって
粘り強く、調整をしながら学んでいくのか

学びの姿を具体的にえがく

28

指導と評価の一体化に向けて

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「荒城の月」, 「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 技 創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付け, 歌唱で表している。	思 「荒城の月」, 「早春賦」のリズム, 速度, 旋律, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	態 「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

評価の計画

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校音楽 文部科学省国立教育政策研究所 p55

時	主な学習内容	評価の位置付け		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞の内容, 曲想などに関心をもち。			
2	・音楽を形づくっている要素を知覚・感受し, 「荒城の月」を歌唱する。			
3	・前時の学習を生かして, 「早春賦」の音楽表現を創意工夫する。	知 曲想と音楽の構造等との関わりを理解	思 音楽を形づくっている要素の知覚・感受に基づく歌唱表現の創意工夫	
4	・曲にふさわしい表現で主体的に「早春賦」を歌唱する。 ・題材全体の学習の振り返りをする。	技 創意工夫を生かして歌う技能		態 学習活動に対する主体的・協働的な取組



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校音楽 文部科学省国立教育政策研究所 p56

(4) 評価の計画を立てることの重要性

学習指導のねらいが児童生徒の学習状況として実現されたかについて, 評価規準に照らして観察し, 毎時間の授業で適宜指導を行うことは, 育成を目指す資質・能力を児童生徒に育むためには不可欠である。その上で, 評価規準に照らして, 観点別学習状況の評価をするための記録を取ることになる。そのためには, いつ, どのような方法で, 児童生徒について観点別学習状況の評価するための記録を取るのかについて, 評価の計画を立てることが引き続き大切である。

毎時間児童生徒全員について記録を取り, 総括の資料とするために蓄積することは現実的ではないことから, 児童生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選し, かつ適切に評価するための評価の計画が一層重要になる。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校音楽 文部科学省国立教育政策研究所 p16



学習の途中段階において
「努力を要する」状況 (C) と
判断されそうであっても、
最終的に判断することに留意

評価を残す場面

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

中学校
音楽

令和2年3月
文部科学省
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

参考資料すべての事例において、
全員の記録に残す場面を、
題材の最後に設定。

主体的に学習に取り組む態度

33

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行うとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校音楽 文部科学省国立教育政策研究所 p10

コラム 「主体的に学習に取り組む態度」は、「関心・意欲・態度」と同じ趣旨ですが…
～こんなことで評価をしていませんか？～

平成31年1月21日文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」では、学習評価について指摘されている課題として、「関心・意欲・態度」の観点について「学校や教師の状況によっては、挙手の回数や毎時間ノートを取っているかなど、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉える評価であるような誤解が払拭し切れていない」ということが指摘されました。これを受け、従来から重視されてきた各教科等の学習内容に関心をもつことのみならず、よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組む態度を評価するという趣旨が改めて強調されました。

Column

学習評価の在り方ハンドブックより 35

主体的に学習に取り組む態度

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行うとする側面

②①の中で、**自らの学習を調整しようとする側面**

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかという意志的な側面

学習評価の在り方ハンドブック（国立教育政策研究所）より 36

